

一問一答方式による一般質問



岩沼市の危機管理

高橋 光孝



問 市内で新型コロナウイルスの発症例が出た場合、どのような対応を考えているのか伺う。

健康福祉部長 本部会議を6回、教育委員会も何回も会議を開き、できることを最大限に尽くしていくと市長答弁にあったとおりですが、医療であれば宮城県と連携を図りながら感染の拡大防止に取り組んでいきます。

問 企業、個人事業主、商店、飲食店などが資金繰りに困り、失業する人、離職する人も今後出てくるのではないのかと思うが、市は何か対策等を考えているのか伺う。

市民経済部長 離職者、失業者の求職活動には、職業安定所を紹介し、国は支援制度を設けており約5000億円ぐらいと聞いています。岩沼市も、今回の新型コロナウイルス（振興資金制度）を設けており、市内4金融機関の窓口で相談・利用いただければと思います。

土砂災害予防に予算を！

問 今のイノシシ対策は、農作物

を守るだけの対策になっている。イノシシが掘り荒らした所での土砂災害発生も多く、災害対策として予算をつけて、抜本的なイノシシ対策を行ってはどうか伺う。

市民経済部長 現状、農業被害への対策で電気柵やワイヤーメッシュの設置、箱わなでの捕獲等で、昨年、今年と100頭超を捕獲し農政面での予算対応となります。

問 100頭超を捕獲してもそれ以上に増え、昨年あたりから河川の土手なども掘っており、そういう所が土砂災害を起こしている。ドローンや高周波を利用した方法を大学や民間企業が研究を進めている。そのような新しい追い払いや捕獲に、土砂災害の予防のためにも予算をつけてはどうか伺う。

市長 イノシシの行動を想定して風水害対策をするというのも難しく、イノシシの頭数減に力を入れなければなりません。各市いろいろやっていますが、余り効果が上がっていないのが現実で、何かいい方法があれば提案をいただき対策に予算を出していきたいです。



GIGAスクール構想

菊地 忍



問 ソサエティ5・0（※1）時代を生きる子どもたちの教育において、ICT基盤の整備は必要不可欠であることから、市としてもしっかりと取り組まなければならぬと考えます。GIGAスクール構想（※2）について市の考えを伺う。

教育長 GIGAスクール構想は、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

一人一台学習用端末整備

問 一人一台の学習用端末の整備が必要と考えるが、設置計画を伺う。

教育次長 情報端末の整備に向けて、内容を精査しながら整備を行いたいと考えています。

問 校内LAN、無線LANの整備計画を伺う。

教育次長 令和2年度中に小中学校全8校で校内LANを整備し、一人一台の端末利用に耐えうるネットワークの整備を考えています。

問 ICT機器やICT教材を使いこなす人員をどのように養成していくのか伺う。

学校教育課長 アイティーチャー

研修会や総合教育センター等で行なっている研修会にも参加し、授業の中でタブレット等を、どのように活用していくかを学んでいます。

問 教育のICT化に向けた環境整備におけるICT支援員の配置について、見解を伺う。

市長 計画では2022年までに人員を配置していくという国の考えを見据えながら、人員の確保に努めてまいります。

※1 ソサエティ5・0とは狩猟社会（ソサエティ1・0）、農耕社会（ソサエティ2・0）、工業社会（ソサエティ3・0）、情報社会（ソサエティ4・0）に続く、新たな社会を指すもので、我が国が目指すべき未来社会の姿  
※2 GIGAスクール構想とは一人一台の学習用端末やクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境などを整備すること  
◎その他の一般質問  
・宮城県後期高齢者医療広域連合第3次広域計画